

まなべ「熱中時代」

元気と夢を育む真鍋小学校



学校だより 令和5年2月8日
土浦市立真鍋小学校（小中一貫校）
文責 酒井 宏之

卒業・進級に向けて

早いもので2月になりました。今年度も残すところあとわずかです。子供たちは卒業や進級に向けて学習や生活のまとめに取り組んでいるところです。

6年生は卒業制作や卒業文集の作成、卒業式等の歌の練習に励んでいます。さらに、オープンプラブアクティビティ、感謝のつどいや入塔式等々、卒業まで本当に忙しい毎日です。また、1～5年生は6年生を送る会の準備、学習のまとめ等がんばっています。

寒い日が続いていますが、少しずつ春が近づいています。今やるべき事をしっかりやって、希望の春を迎えたいものです。



2月6日（月）撮影

避難訓練（不審者）が行われました

1月27日（金）、朝の活動の時間に避難訓練（不審者対応）が実施されました。訓練は、不審者が1年生教室に侵入したという想定で行われました。不審者役には男性教員がなり、大声を張り上げ、音を立てながら迫力ある不審者を演じていました。訓練も事前指導の通り、侵入された1年生の教室の子供たちは速やかに避難し、他の学年や学級は、教室の出入り口を防ぎました。そして、職員室からは他の男性職員がかけつけて、不審者を見事に取り押さえました。



6年生を送る会 計画準備中



3月7日（火）は、6年生を送る会です。卒業式に1～5年生は参加しませんので、6年生を送る会は、6年生との最後のお別れの会です。昨年度はリモートによる送る会でしたが、今年度は、対面での送る会にする予定です。ただ、全校児童が体育館に集合して行うことはせず、学年ごとに入替制で行う予定です。

6年生を送る会の計画は、5年生が中心になって立てています。現在は、1～5年生から6年生に向けて、メッセージやプレゼント等を考えています。メッセージは、各学年ごとに工夫を凝らし、6年生に見てもらおう予定です。プレゼントは、それぞれの学年の実態に応じて、心を込めて作成中です。どんな会になるか楽しみです。

お世話になった6年生にとって、よい思い出となることを願っています。

「土浦郷土かるた」中央大会

2月4日（土）、土浦市武道館において、土浦子ども会育成連合会の主催で「土浦郷土かるた」中央大会が開催されました。真鍋小からは2人組で3チームが参加し、他の小学校と対戦しました。当日は寒い中でしたが、白熱した大会となりました。その中で、佐々木 翔さん（6年）吉岡 華さん（5年）のペアが準優勝しました。おめでとうございます。

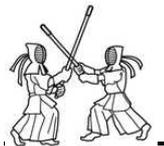


オープンプラブ

アクティビティー（部活動体験）

2月7日（火）の放課後に、土浦二中で、オープンプラブアクティビティー（部活動体験）が、6年生を対象に行われました。

部活動は6年生にとって、中学校で楽しみにしている活動の一つです。6年生の中にはどの部活に入ろうか迷っている人も多いいことと思います。そのようなことから、土浦二中の生徒のみなさんが計画を立て、実施されました。当日は寒い中でしたが、中学生といっしょに楽しそうに活動する姿が見られました。二中学生のみなさん、先生方ありがとうございました。



（真鍋小学校からの参加児童）
佐々木 翔さん（6年） 吉岡 華さん（5年） ☆準優勝
石井 悠佳さん（5年） 石井 明佳さん（3年）
小澤 樹さん（6年） 小澤 新花さん（4年）

校長室より

心の居場所・・・

寒い日が続いています。私が朝起きる頃はまだ真っ暗で、学校へ行くのが辛い・・・と思うことが時々あります。毎朝子供たちを校門で迎えていると、子供たちは様々な表情で登校してきます。どんな思いで登校しているのでしょうか。

全国的に不登校の子供たちが増えていることが大きな社会問題になっています。コロナ禍になり、さらに不登校の子供たちが増えているという話も耳にします。不登校の子供たちへの対応にはいろいろな考え方があります。私が教員になったばかりの頃は、登校を強く促すことが多かったように思います。さらに、私が子供の頃は学校に行くのが当たり前、という時代でした。ただ、今も昔も変わらないものは、子供に対する担任の先生の思いです。自分のクラスの子供が休みが続くと、やはり心配になります。また、友達との関係や学習の進度も気になります。早く学校に来てほしい、と思います。近頃は、学校以外にもフリースクールや適応指導教室等があり、そこに通っている子供たちもいます。どんな形がよいのか難しい問題ですが、大切なことは、子供たちにとって、安心できる心の居場所があるということ。校長としては、学校や学級が、心の居場所であってほしいと思っています。

節分が過ぎ、立春を迎えました。早く暖かい春が来てほしいと思います。



